

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【公表番号】特表 2019-505482 (P2019-505482A)

【公表日】平成 31 年 2 月 28 日 (2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-008

【出願番号】特願 2018-530013 (P2018-530013)

【国際特許分類】

A 6 1 K 6/30 (2020.01)

A 6 1 K 6/00 (2020.01)

A 6 1 K 6/84 (2020.01)

A 6 1 K 6/882 (2020.01)

A 6 1 K 6/887 (2020.01)

A 6 1 C 13/00 (2006.01)

C 0 8 F 4/40 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 6/00 A

A 6 1 K 6/00 Z

A 6 1 K 6/04

A 6 1 K 6/06 A

A 6 1 K 6/083 5 0 0

A 6 1 C 13/00 C

C 0 8 F 4/40

C 0 8 F 2/44 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パート A 及びパート B を含む歯科用パーツキットであって、

パート A は、

アスコルビン酸部分を含む 1 つ又は複数の構成成分、

1 つ又は複数のサルファイト、1 つ又は複数のホスファイト、又はそれらの混合物から
選択される安定剤、

任意選択の、酸性部分を有しない 1 つ又は複数の重合性構成成分、

任意選択の、酸性部分を有する 1 つ又は複数の重合性構成成分、

任意選択の 1 つ又は複数のフィラー、

任意選択の 1 つ又は複数の添加剤を含み、

パート B は、

酸性部分を有しない 1 つ又は複数の重合性構成成分、

酸性部分を有する 1 つ又は複数の重合性構成成分、

1 つ又は複数の遷移金属構成成分、

1 つ又は複数の有機ペルオキシド、

任意選択の1つ又は複数のフィラー、
任意選択の1つ又は複数の添加剤を含む、
パーツキット。

【請求項2】

パートAは、
アスコルビン酸部分を含む1つ又は複数の構成成分、
1つ又は複数のサルファイト、1つ又は複数のホスファイト、又はそれらの混合物から
選択される安定剤、
酸性部分を有しない1つ又は複数の重合性構成成分、
1つ又は複数のフィラー、
任意選択の、酸性部分を有する1つ又は複数の重合性構成成分、
任意選択の1つ又は複数の添加剤を含み、
パートBは、
酸性部分を有しない1つ又は複数の重合性構成成分、
酸性部分を有する1つ又は複数の重合性構成成分、
1つ又は複数の遷移金属構成成分、
1つ又は複数のヒドロペルオキシド及び1つ又は複数のジペルオキシドから選択される
1つ又は複数の有機ペルオキシド、
1つ又は複数のフィラー、
任意選択の1つ又は複数の添加剤を含み、
前記パーツキットは、ペースト/ペースト系として提供される、
請求項1に記載のパーツキット。

【請求項3】

前記パーツキットのパートAにおける、前記アスコルビン酸部分を含む1つ又は複数の
構成成分の、前記1つ又は複数の安定剤に対する比は、molに関して、1:5~5:1
の範囲である、請求項1又は2に記載のパーツキット。

【請求項4】

パートAの組成物は、湿ったpH感応紙と接触させた場合に、6~8のpH値を有し、
パートBの組成物は、湿ったpH感応紙と接触させた場合に、4未満のpH値を有する
、
請求項1~3のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項5】

前記1つ又は複数の有機ペルオキシドは、構造部分R-O-O-H(式中、Rは、アル
キル、分枝状アルキル、シクロアルキル、アルキルアリール、又はアリール部分である)
を含むヒドロペルオキシドである、請求項1~4のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項6】

前記1つ又は複数の有機ペルオキシドは、部分 $R_1-O-O-R_2-O-O-R_3$ (式
中、 R_1 及び R_3 は、独立して、H、アルキル、分枝状アルキル、シクロアルキル、アル
キルアリール、又はアリールから選択され、 R_2 は、アルキル又は分枝状アルキルから選
択される)を含むジペルオキシドである、請求項1~5のいずれか一項に記載のパーツキ
ット。

【請求項7】

前記遷移金属構成成分は、遷移金属として、水和物又は乾燥物の形態であるTi、V、
Cr、Mn、Co、Ni、Cu、Fe、Zn、及びそれらの混合物を含み、前記1つ又は
複数の遷移金属構成成分は、好ましくは、水和物又は乾燥物の形態である酢酸銅、塩化銅
、安息香酸銅、銅アセチルアセトネート、ナフテン酸銅、カルボン酸銅、銅ビス(1-フ
ェニルペンタン-1,3-ジオン)、銅錯体、及びそれらの混合物から選択される、請求
項1~6のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項8】

前記安定剤は、有機サルファイト若しくは有機ホスファイト、又はそれらの混合物であ

る、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項 9】

パート A 又はパート B は、光開始剤を追加的に含み、前記光開始剤は、好ましくは、増感剤と、前記アスコルビン酸部分を含む構成成分とは異なる、更なる還元剤とを含む、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載のパーツキットのパート A の組成物及びパート B の組成物を混合し、得られた混合物を硬化させることによって得ることができる、歯科用又は歯科矯正用組成物であって、自己エッチング性、自己接着性、かつ自己硬化性の組成物である、歯科用組成物。